

第 33 回交通工学研究発表会 開催のお知らせ

第 33 回交通工学研究発表会につきましては、各分野の研究者・実務者から多数の論文報告を頂き、下記のとおり開催する運びとなりました。会員の皆様方をはじめ関係各位多数のご聴講と活発なご意見の交換を期待しておりますので、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、当会の自主研究活動につきまして、発表会場の中では前年度に終了した自主研究の活動報告、デモンストレーション会場では現在活動中の自主研究のパネル展示を致します。この機会に研究発表会にご参加の方々にも交通工学研究会の活動を知って頂く機会として、多くの方々にご参会いただきますようご案内いたします。

1. 主 催 : 一般社団法人 交通工学研究会
2. 開 催 日 : 平成 25 年 9 月 17 日(火) ~ 18 日(水)
3. 会 場 : 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 3 階 (東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)
JR 中央・総武線御茶ノ水駅 徒歩 3 分、東京メトロ新御茶ノ水駅 徒歩 3 分、都営新宿線小川町駅 徒歩 4 分
4. 参 加 費 : 発表者、聴講者 共通
会員 6,000 円 一般 9,000 円 学生会員 3,000 円 (いずれも論文集代(CD-ROM)、消費税含む)
5. 申込方法 : 参加申込書にご記入の上、当会宛にファックスまたは郵送願います。
メールでお申し込みされる場合は、参加申込書を参考に必要事項を記載の上、
メールタイトルを「第 33 回交通工学研究発表会申込」とし、event@jste.or.jp 宛に送信ください。
6. お 願 い : 会場で論文の打ち出し原稿の配布は行っておりませんので、各自ペーパーやデータ等でご準備をお願いいたします。

● 交通工学研究会 論文システムの改革について

交通工学研究会では新たにオンラインの「交通工学論文集」を平成 27 年から発行することとし、併せて論文システムを全面的に改革いたします。この改革についての説明会を 1 日目(9 月 17 日)16:45 より第 1 会場で開催いたします。

● 交通工学研究発表会 懇親会

交通工学研究発表会では、参加者及び会員相互の親睦を深めることを目的に懇親会を行っており、毎回ご出席された皆様方には大変ご好評を頂いております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

開 催 日 : 平成 25 年 9 月 17 日(火) 17:15~

会 場 : 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 2 階 カフェテリア(学生食堂)

会 費 : 3,000 円 (立食形式です。当日懇親会場にて現金でお支払い願います。)

申込方法 : 発表会への申込時に、懇親会参加希望欄にご記入ください。

● 交通工学研究会 自主研究活動報告

交通工学研究会では、公益事業の一環として自主研究を行っています。平成 24 年度末で終了した自主研究は交通工学研究発表会の発表会場で口頭報告されます。また、デモンストレーション会場では、平成 25 年度活動中の自主研究をパネル展示によりご報告いたします。研究発表会プログラムのデモンストレーションの時間帯には、自主研究グループの専任説明員を配し、活動経過を説明いたします。今回ご報告する自主研究は下記のとおりです。

<口頭報告:9 月 18 日 11:25~ 第 3 会場>

1. 交差点の自転車空間ガイドラインの研究 (代表:久保田尚/埼玉大学)【公募型研究】

自転車交通に配慮した交差点設計に関して公式で発行されるガイドラインを補足し、現場のニーズから望まれる整備のポイントや整備方法を報告、提言することを目的として実施した自主研究の活動報告および今後の活動について説明する。

<パネル展示:デモンストレーション会場>

1. 交通事故ハザード評価法の新規開発と個人対応型対策の実証的研究(代表:朴啓彰/高知工科大学)【公募型研究】

● 交通工学研究会 個人会員入会キャンペーンのお知らせ

当会では、7 月 1 日~9 月 11 日に個人会員への入会手続き頂いた方に限り、第 33 回交通工学研究発表会参加費を免除するキャンペーンを実施いたします(論文集 CD-ROM は実費頒布)。この機会に是非個人会員への入会をご検討ください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

● 当会出版の書籍について

会場では、当会の書籍を割引価格にて販売いたしております。この機会に図書販売コーナーへ是非お越し下さい。

お申込み・お問い合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

参加希望の方は必ず事前にお申込みをお願い致します

第33回交通工学研究発表会 参加申込書

■申込先FAX番号：03-6410-8718

勤務先住所	〒 _____				《電話番号》
勤務先名称	_____				
参加者氏名	所属部課名	会員区分(○印)	会員番号	懇親会参加(○印)	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		する・しない	
その他(請求書発行に関するご要望など)					

- 9月上旬より順次、論文集(CD-ROM)と共に見積書・請求書・納品書及び参加カード等書類をお送りいたしますので、お手元に書類が届き次第、ご確認をお願いいたします。
開催日の1週間前になっても書類が届かない場合は事務局までご連絡ください。
参加カードは当日、名札と引換となりますので、必ずお持ち下さい。
 - お申込後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、または代理の方に変更される場合は、必ず事前に事務局にご連絡をお願いいたします。
当日ご欠席の場合でも、参加費のお支払いをお願いいたします。
 - お支払いは、郵便振替または銀行振込にてお手続き願います(振込手数料はご負担願います)。
当日のお支払はご遠慮願います。
 - 悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会ホームページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせ致します。
- ★9月10日以降にお申込の方は、論文集(CD-ROM)及び書類等は当日渡しとなりますので、直接受付にお越し下さい。

会場案内図

住所：千代田区神田駿河台1-8-14



交通のご案内

●アクセス●

- ・JR中央・総武線 御茶ノ水駅 徒歩3分
- ・東京メトロ 御茶ノ水駅 徒歩5分
- ・東京メトロ 新御茶ノ水駅 徒歩3分
- ・都営新宿線 小川町駅 徒歩4分

●乗り換え案内●

- ・東京駅から(約5分)
東京駅 - <JR中央線または東京メトロ丸ノ内線> - 御茶ノ水駅
- ・羽田空港から(約45分)

【モノレール】

- 羽田空港(第1ビル・第2ビル)駅 - <東京モノレール> - 浜松町駅 - <JR山手線または京浜東北線> - 東京駅 - <JR中央線> - 御茶ノ水駅

【京浜急行】

- 羽田空港国内線ターミナル駅 - <京浜急行線(都営浅草線直通)> - 三田駅 - <都営三田線> - 神保町駅 - <都営新宿線> - 小川町駅

第33回交通工学研究発表会 第1日【9月17日(火)】プログラム

発表10分、質疑12分 ○は発表者

《 第 1 会 場 》

《 第 2 会 場 》

《 第 3 会 場 》

1. 交通安全 座長：三井 達郎(科学警察研究所) 副座長：小川 圭一(立命館大学)			6. 運転者の挙動と認識 座長：内田 敬(大阪市立大学) 副座長：鈴木 弘司(名古屋工業大学)			1 1. データの収集と活用 座長：谷口 守(筑波大学) 副座長：塚井 誠人(広島大学)																							
9:00 ~ 9:22	1 中国道上り線宝塚西トンネルにおける事故対策と効果検証 (実務論文)	○ 澤田 英郎 安 時亨 亀井 伸二 三戸 隆治	西日本高速道路エンジニアリング関西㈱ 西日本高速道路エンジニアリング関西㈱ 西日本高速道路㈱ 西日本高速道路㈱	36 認知テストが運転挙動に与える影響に関する研究	○ 三津谷 豊 萩原 亨	札幌市役所 北海道大学	71 複数センサーを用いた交通管理システムの提案とその評価	○ 伊藤 創太 瀧口 洋平 北澤 俊彦 羽藤 英二	東京大学 NTTデータ 阪神高速技研 東京大学																				
9:22 ~ 9:44	2 高速道路利用後の自動車に着目した速度感の継続状況と危険度評価	○ 坂本 淳 山岡 俊一 藤田 素弘	岐阜工業高等専門学校 豊田工業高等専門学校 名古屋工業大学	37 高速道路の本線料金所における高齢者の運転行動分析	○ 阪本 浩章 多田 昌裕 飯田 克弘 山田 憲浩	西日本高速道路㈱ 近畿大学 大阪大学 西日本高速道路㈱	72 民間プローブデータを用いた時間帯別旅行速度の簡易予測手法の提案 (実務論文)	○ 鈴木 清 尾高 慎二 神戸 信人 紀伊 雅敦	国土交通省 四国技術事務所 ㈱オリエンタルコンサルタンツ ㈱オリエンタルコンサルタンツ 香川大学																				
9:44 ~ 10:06	3 左折導流路に設置された横断歩道上における自転車ヒヤリ事象の分析	○ 杭瀬 翔太 橋本 成仁	岡山大学 岡山大学	38 高齢ドライバーに対するドライビングシミュレーターを用いた同乗者効果の検討	○ 池知 絵里 朴 啓彰 西田 泰 小野 浩	高知工科大学 高知工科大学 公益財団法人交通事故総合分析センター 本田技研工業㈱	73 旅行速度調査でのプローブデータ活用を考慮したITSスポットの配置に関する研究 (実務論文)	○ 金澤 文彦 田中 良寛	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所																				
10:06 ~ 10:28	4 ヒヤリハット事象にみる乗用ゴルフカートの事故要因	○ 石塚 裕子 猪井 博登 栗山 龍起	大阪大学 大阪大学 IDEC㈱	39 生活道路走行時の高齢運転者の注意意識と挙動に関する基礎的研究	○ 三村 泰広	公益財団法人 豊田都市交通研究所	74 実験データによるITSスポットを用いた大型車両の走行経路照合手法の比較分析	○ 鈴木 彰一 金澤 文彦 田中 良寛 築地 貴裕	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所																				
休憩																													
10:40 ~ 11:02	5 高齢者の交通事故に関する基礎的分析	○ 山田 晴利	公益財団法人 交通事故総合分析センター	40 道路の走りやすさに対するドライバーの評価とその予測手法	喜多 秀行 本田 健祐 ○ 浅香 遼 四辻 裕文	神戸大学 パナソニックシステムネットワークス㈱ 神戸大学 神戸大学 神戸大学	75 車両センサーの長期観測データを用いたノンパラメトリックモデルによる突発事象の検出	○ 成岡 尚哉 瀧尾 亨 日下部 貴彦 朝倉 康夫	東京工業大学 東京工業大学 東京工業大学 東京工業大学																				
11:02 ~ 11:24	6 回避されているケースを考慮した交通事故発生モデルの提案	○ 今長 久 鹿島 茂	一般財団法人 日本自動車研究所 中央大学	41 道路の走りやすさに対するドライバーの認識・評価モデルの実証分析	喜多 秀行 ○ 辻谷 純 浅香 遼 四辻 裕文	神戸大学 神戸大学 神戸大学 神戸大学	76 スパースなデータに対するマップマッチング手法と頻度変更型測位に関する研究	○ 原 祐輔 桑原 雅夫	東北大学 東北大学																				
11:24 ~ 11:46	7 違反履歴に着目した違反傾向と交通取締りに関する研究	○ 森本 章倫 高野 穂泉	宇都宮大学 弘前市役所	42 無信号横断歩道におけるドライバーの「譲り」に関する基礎的調査および考察	○ 松尾 幸二郎 廣島 康裕 佐藤 修生 山内 洋佑	豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学 秋田市役所 三井住建道路	77 デジタルタコグラフデータのバスロケーションシステムデータによる時刻補正	○ 財津 陽亮 南部 繁樹 赤羽 弘和	㈱トリアックプラス ㈱トリアックプラス 千葉工業大学																				
11:46 ~ 12:08	8 ドライバーへの働きかけによる安全支援～阪高Safetyナビにおける信頼性・妥当性検証と効果の評価～ (実務論文) <デモ有>	○ 小澤 友記子 兒玉 崇 大藤 武彦	㈱交通システム研究所 阪神高速道路㈱ ㈱交通システム研究所	43 無信号交差点における出会い頭事故予防対策「注意喚起」の有効性～特に、非優先道路から優先道路への左折合流を対象として～ (実務論文)	○ 塚田 悟之	日産自動車㈱	78 スマートフォンを活用した道路管理情報収集システムの検討 (実務論文)	○ 渡部 大輔 金澤 文彦 澤 純平 佐野 久弥	国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所																				
2. 交通流(1) 座長：中村 英樹(名古屋大学) 副座長：江田 政樹(警視庁交通規制課)										7. 災害と交通 座長：萩原 亨(北海道大学) 副座長：熊谷 慎二(㈱トーニチコンサルタント)										1 2. 交通行動と意識 座長：西井 和夫(流通科学大学) 副座長：内田 賢悦(北海道大学)									
13:10 ~ 13:32	9 山地部道路の走りやすさを実現する旅行速度とその要因に関する分析	○ 下川 澄雄 森田 緯之 有賀 尚也	日本大学 日本大学 坪井工業㈱	44 陸前高田市応急仮設住宅に住む人々の生活活動や健康、交通に関する調査研究 (実務論文)	○ 宇佐美 誠史 元田 良孝	岩手県立大学 岩手県立大学	79 市民の利他的態度とバス・キャティブ層に着目した長期的交通手段選択ゲーム	○ 越智 雅樹 内田 敬	㈱建設技研インターナショナル 大阪市立大学																				
13:32 ~ 13:54	10 道路構造が自由流速度へ及ぼす影響の試行分析 (実務論文)	○ 近田 博之 米川 英雄	中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋㈱ 中日本高速道路㈱	45 被災地に見る移動販売の利用実態とその今後について	谷口 守 ○ 森 英高 西山 真利江	筑波大学 筑波大学 いわき市	80 ネットワークの縮約表現に着目した離散・連続選択モデルによる歩行パターン分析	○ 福山 祥代 羽藤 英二	東京大学 東京大学																				
13:54 ~ 14:16	11 常時観測データを用いた冬期の交通量及び走行速度の特性分析に関する一考察	○ 大橋 幸子 大谷 悟	国土技術政策総合研究所 国土交通省 猪名川河川事務所 (前国土技術政策総合研究所)	46 東日本大震災後の都市間交通の状況と需要特性に関する研究	○ 金子 雄一郎 相沢 圭俊 荒谷 太郎	日本大学 日本大学 一般財団法人運輸政策研究機構	81 自家用車による送迎の実施要因に関する研究	○ 有吉 亮 中村 文彦 田中 伸治	横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学																				
14:16 ~ 14:38	12 歩行者用信号による車両挙動の差異に着目した信号情報提供時の危険発生可能性に関する研究	○ 大島 達哉 松本 幸正	名城大学 名城大学	47 特定プローブデータを活用した貨物車交通解析の一事例 (実務論文)	○ 柳木 功宏 江守 昌弘 野見山 尚志 井上 恵介	㈱建設技術研究所 ㈱建設技術研究所 ㈱建設技術研究所 ㈱建設技術研究所	82 公共交通車内における迷惑行為と移動の幸福感の国際比較	○ 小林 杏奈 大森 宣暁 高見 淳史 原田 昇	三井住友信託銀行 東京大学 東京大学 東京大学																				
デモ & 休憩										デモンストレーション & 自主研究活動報告 <デモ有り> 表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場																			
15:10 ~ 15:32	13 マルチエージェントシミュレーションを用いた歩行者専用現示方式信号の導入評価	○ 小山 茂 山田 健太 高瀬 達夫 大上 俊之	信州大学 JR東日本㈱ 信州大学 信州大学	48 将来リスクの動的変化を考慮した逐次型避難開始時刻選択モデル	○ 浦田 淳司 羽藤 英二 植村 恵里	東京大学 東京大学 JR東日本㈱	83 居住と交通に関する選好変化の調査分析手法の開発	○ 有賀 敏典 松橋 啓介	(独)国立環境研究所 (独)国立環境研究所																				
15:32 ~ 15:54	14 交差点形状を考慮した幹線道路における信号切り替わり時の自動車走行挙動の分析	○ 小川 圭一	立命館大学	49 群集行動シミュレーターによる大阪駅改札付近の帰宅困難者分布予測	原田 英治 後藤 仁志 ○ 吉澤 友貴 宮崎 智博	京都大学 京都大学 京都大学 京都大学	84 個人属性と地域特性を考慮した買い物困難判別に関する要因分析	○ 伊勢 昇 莊司 匡岐 森 一也 川口 充洋	和歌山工業高等専門学校 徳島大学 徳島大学 熊本大学																				
15:54 ~ 16:16	15 出会い頭事故対策の立案を意図した無信号交差点の交通現象解析 (実務論文)	○ 塚田 悟之 清水 真人	日産自動車㈱ ㈱アーバンライフエンジニアリング	50 口蹄疫防疫のための道路での車両消毒ポイント設置の課題～平成22年宮崎県での事例から～	○ 出口 近士 石崎 太郎 吉武 哲信 水田 哲朗	宮崎大学 宮崎大学 九州工業大学 熊本市	85 高齢者交通に着目した地方都市のスマートモビリティに関する研究	○ 長谷川 陽平 秋山 孝正 井ノ口 弘昭	関西大学 関西大学 関西大学																				
16:16 ~ 16:38	16 民間プローブデータを用いた交差点需要交通量推計手法と実務への適用に関する研究 (実務論文)	○ 神野 裕昭 青山 淳 田中 茂行 福富 浩史	㈱建設技術研究所 国土交通省 大阪国道事務所 国土交通省 大阪国道事務所 ㈱建設技術研究所	51 東京23区を対象とした大規模災害時交通シミュレーションと交通渋滞緩和策の評価 (実務論文)	大口 敬 伊藤 麻紀 水田 隆三 ○ 堀口 良太	東京大学 東京都 東京都 ㈱アイトランスポート・ラボ	86 中山間地域における高齢者のパーソナルモビリティニーズに係る調査・分析	○ 土屋 哲 谷本 圭志 岩田 千加良 林原 壮太	鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学 大山町																				
16:45 ~ 17:00	論文システム改革についての説明会(第1会場)																												
17:15 ~	懇親会																												

第33回交通工学研究発表会 第2日【9月18日(水)】プログラム

発表10分、質疑12分 ○は発表者

《第1会場》

《第2会場》

《第3会場》

3. 交通流(2) 座長：高宮 進(国土技術政策総合研究所) 副座長：田中 伸治(横浜国立大学)			8. 交通需要予測・交通経済 座長：廣島 康裕(豊橋技術科学大学) 副座長：加藤 昌樹(一般財団法人 計量計画研究所)			13. 自転車交通 座長：金 利昭(茨城大学) 副座長：今田 勝昭(国土技術政策総合研究所)		
9:00 ~ 9:22	17 車両挙動及び危険性指標による渋滞と事故の関係性分析	Jian Xing 大西 隆信 ○高橋 亮介 加藤 哲	○榊 高志 高橋 亮介 加藤 哲	○榊 高志 高橋 亮介 加藤 哲	52 都市高速道路の対距離料金設定に関するモデル分析	○秋山 孝正 井ノ口 弘昭	○秋山 孝正 井ノ口 弘昭	○鈴木 清 砂川 尊範 福富 浩史 土井 健司
9:22 ~ 9:44	18 都市高速道路合流部の錯綜事象と衝突危険性に関する分析	○松村 悠貴 鈴木 弘司	○松村 悠貴 鈴木 弘司	○松村 悠貴 鈴木 弘司	53 時間変動係数に基づく観測交通量からの時間帯別OD交通量逆推定の基礎分析	○藤田 素弘 渡邊 健 瀧 靖仁	○藤田 素弘 渡邊 健 瀧 靖仁	○山中 英生 松原 淳 福井 康朗
9:44 ~ 10:06	19 暫定2車線高速道路における付加車線設置方式に関する考察(実務論文)	○石田 貴志 野中 米川 英雄	○石田 貴志 野中 米川 英雄	○石田 貴志 野中 米川 英雄	54 阪神高速道路における交通障害発生時の交通量変動に関する研究	○飛ヶ谷 明人 宇野 伸宏 嶋本 寛 中村 俊之	○飛ヶ谷 明人 宇野 伸宏 嶋本 寛 中村 俊之	○辰巳 浩 堤 香代子

4. 交通流(3) 座長：下川 澄雄(日本大学) 副座長：後藤 誠(東日本高速道路株)			9. 交通情報提供 座長：山中 英生(徳島大学) 副座長：小山 周一(首都高速道路株)			14. 歩行者・地区交通計画 座長：藪 雅行(国土技術政策総合研究所) 副座長：小早川 悟(日本大学)		
10:15 ~ 10:37	20 本線料金所手前における車両走行軌跡の把握と交通コンフリクト評価	飯田 克弘 多田 昌裕 ○安部 憲浩 山田 憲浩	○飯田 克弘 多田 昌裕 安部 憲浩 山田 憲浩	○飯田 克弘 多田 昌裕 安部 憲浩 山田 憲浩	55 時間集積の経済・不経済を考慮した始業時刻選択モデル	○高山 雄貴 松岡 香織 吉井 稔雄	○高山 雄貴 松岡 香織 吉井 稔雄	○浅田 拓海 谷下 雅義 坂本 将吾
10:37 ~ 10:59	21 都市間高速道路の車線利用率特性に関する分析	○王 曠 近田 博之 中村 英樹 浅野 美帆	○王 曠 近田 博之 中村 英樹 浅野 美帆	○王 曠 近田 博之 中村 英樹 浅野 美帆	56 誘発需要を考慮した道路整備便益手法の一提案	○小笹 俊成 塚井 誠人 藤原 章正	○小笹 俊成 塚井 誠人 藤原 章正	○海老澤 統一 加藤 芳隆
10:59 ~ 11:21	22 高速道路のジャンクション部における補助車線の延長に着目した交通実態の分析・評価	村重 至康 Jian Xing 山下 広秋 ○金子 太郎	○村重 至康 Jian Xing 山下 広秋 金子 太郎	○村重 至康 Jian Xing 山下 広秋 金子 太郎	57 ドメイン・アプローチによる異なる交通基盤整備が及ぼす影響分析	○沓掛 敏夫 菊地 春海 ○毛利 雄一	○沓掛 敏夫 菊地 春海 毛利 雄一	○鈴木 雄 戸田 智司 浜岡 秀勝
11:25 ~ 11:40								○山中 英生 徳島大学

5. 標識・標示 座長：藤田 素弘(名古屋工業大学) 副座長：伊藤 亜生(株片平エンジニアリング)			10. 駐輪・駐車・物流 座長：赤羽 弘和(千葉工業大学) 副座長：奥田 舘夫(国土交通省 都市局)			15. 公共交通 座長：松本 幸正(名城大学) 副座長：大森 宣暁(東京大学)		
12:40 ~ 13:02	23 首都高速3号渋谷線下りにおける渋滞現象の分析と渋滞対策の取組み(実務論文)	○増田 智志 岡野 孝司 泉 典宏 吉井 稔雄	○増田 智志 岡野 孝司 泉 典宏 吉井 稔雄	○増田 智志 岡野 孝司 泉 典宏 吉井 稔雄	58 情報提供に用いる車両感知器の平均速度に関する一考察(実務論文)	○小川 清香 山口 孝 米川 英雄	○小川 清香 山口 孝 米川 英雄	○高橋 咲衣 根木 和幸 内田 敬
13:02 ~ 13:24	24 都市高速道路における単路部渋滞対策について(実務論文)	○武藤 圭祐 坂爪 誠 田中 翔太 竹平 誠治	○武藤 圭祐 坂爪 誠 田中 翔太 竹平 誠治	○武藤 圭祐 坂爪 誠 田中 翔太 竹平 誠治	59 高速道路における渋滞情報と迂回選択行動との関連性分析(実務論文)	○鶴 元史 米川 英雄	○鶴 元史 米川 英雄	○高田 淳司 内田 賢悦 杉木 直
13:24 ~ 13:46	25 名古屋高速道路の都心オーブン部における渋滞要因分析(実務論文)	○山田 貴久 田村 敬介 中村 英樹	○山田 貴久 田村 敬介 中村 英樹	○山田 貴久 田村 敬介 中村 英樹	60 都市間高速道路における経路選択行動に関する実態分析(実務論文)	○石田 貴志 深瀬 正之 石橋 弘之 清宮 広和	○石田 貴志 深瀬 正之 石橋 弘之 清宮 広和	○吉城 秀治 橋本 成仁
13:55 ~ 14:17	26 高速道路サグ部におけるドライバの交通円滑化走行による渋滞緩和効果の推計(実務論文)	○金澤 文彦 鈴木 一史 坂井 康一	○金澤 文彦 鈴木 一史 坂井 康一	○金澤 文彦 鈴木 一史 坂井 康一	61 高速道路における交通事故発生リスク情報の提供に関する研究	吉井 稔雄 川原 洋一 大石 和弘 ○兵頭 知	吉井 稔雄 川原 洋一 大石 和弘 兵頭 知	○稲垣 具志 寺内 義典 橋 たか 大倉 元宏
14:17 ~ 14:39	27 ITSスポットプローブデータを用いた渋滞現象分析(実務論文)	○木村 真也 野中 康弘 森本 絢文 米川 英雄	○木村 真也 野中 康弘 森本 絢文 米川 英雄	○木村 真也 野中 康弘 森本 絢文 米川 英雄	62 道路交通情報によるP&R利用と観光移動満足度への影響から見た情報提供方法の考察(実務論文)	○田波 岳彦 杉田 正俊 鶴見 英次	○田波 岳彦 杉田 正俊 鶴見 英次	○寺山 一輝 小谷 通泰 秋田 直也
14:39 ~ 15:01	28 渋滞対策へのETCデータ活用可能性検討	○多原 裕二 村重 至康 Jian Xing 小谷 益男	○多原 裕二 村重 至康 Jian Xing 小谷 益男	○多原 裕二 村重 至康 Jian Xing 小谷 益男	63 大規模イベント開催時におけるTDMへのソーシャルメディアの適用可能性とその効果評価(実務論文)	○齋藤 圭亮 西井 和夫 佐々木 邦明 江守 昌弘	○齋藤 圭亮 西井 和夫 佐々木 邦明 江守 昌弘	○今泉 孝章 Shafique Muhammad AWAIS 羽藤 英二

デモンストレーション & 自主研究活動報告 《デモ有り》表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場

6. 標識・標示 座長：藤田 素弘(名古屋工業大学) 副座長：伊藤 亜生(株片平エンジニアリング)			10. 駐輪・駐車・物流 座長：赤羽 弘和(千葉工業大学) 副座長：奥田 舘夫(国土交通省 都市局)			15. 公共交通 座長：松本 幸正(名城大学) 副座長：大森 宣暁(東京大学)		
15:30 ~ 15:52	29 より安全性を高めた標識板構造の開発(実務論文)<デモ有>	○西川 洋介 糸島 史浩 三苦 訓次 稲沢 衛	○西川 洋介 糸島 史浩 三苦 訓次 稲沢 衛	○西川 洋介 糸島 史浩 三苦 訓次 稲沢 衛	64 東京都23区駅周辺の駐輪行動に対応した駐輪対策に関する基礎的研究	宇津木 寛樹 岸井 隆幸 ○大沢 昌玄 三友 奈々	○宇津木 寛樹 岸井 隆幸 大沢 昌玄 三友 奈々	○遠藤 寛之 中村 文彦 田中 伸治 王 鋭
15:52 ~ 16:14	30 交通量の変動が視認・判断に与える影響を考慮した路面標示デザインの検討	飯田 克弘 ○梶原 日笠 誠	○飯田 克弘 梶原 日笠 誠	○飯田 克弘 梶原 日笠 誠	65 撤去経験の有無が路上駐輪への意識に与える影響分析	○森重 翔太 佐野 可寸志 西内 裕晶	○森重 翔太 佐野 可寸志 西内 裕晶	○李 伴伴 日野 泰雄
16:14 ~ 16:36	31 画像解析を用いた道路区画線診断システムの開発(実務論文)	○浅田 拓海 亀山 修一 井上 良和	○浅田 拓海 亀山 修一 井上 良和	○浅田 拓海 亀山 修一 井上 良和	66 非放置路上駐輪行動に関する調査研究	○堂柿 栄輔 梶田 佳孝 井上 信昭	○堂柿 栄輔 梶田 佳孝 井上 信昭	
16:36 ~ 16:58	32 冬期における信号機と連動した右折導流標の整備効果分析(実務論文)	齋藤 正志 川嶋 彩日 松戸 努 ○長尾 一輝	○齋藤 正志 川嶋 彩日 松戸 努 長尾 一輝	○齋藤 正志 川嶋 彩日 松戸 努 長尾 一輝	67 都心部の観光地周辺における観光バスの駐輪実態分析 - 東京都浅草地区を対象として -	小早川 悟 ○長田 哲平	○小早川 悟 長田 哲平	○橋本 成仁 田尾 圭吾

7. 標識・標示 座長：藤田 素弘(名古屋工業大学) 副座長：伊藤 亜生(株片平エンジニアリング)			10. 駐輪・駐車・物流 座長：赤羽 弘和(千葉工業大学) 副座長：奥田 舘夫(国土交通省 都市局)			15. 公共交通 座長：松本 幸正(名城大学) 副座長：大森 宣暁(東京大学)		
17:05 ~ 17:27	33 視覚に訴えた事故対策設備の速度抑制効果検証(実務論文)<デモ有>	○松下 剛 吉川 貴信 大西 隆信 今代 隆	○松下 剛 吉川 貴信 大西 隆信 今代 隆	○松下 剛 吉川 貴信 大西 隆信 今代 隆	68 パーキングハット(移動制御専用駐輪場利用証)制度の検証(実務論文)	○松村 みち子 中村 文彦 田中 伸治 王 鋭	○松村 みち子 中村 文彦 田中 伸治 王 鋭	○倉嶋 祐介 内田 敬
17:27 ~ 17:49	34 渋滞対策を目的とした自発光ペーサーの開発と運用について(実務論文)	○鎌田 恭典 渡部 安齋 柴田 健一	○鎌田 恭典 渡部 安齋 柴田 健一	○鎌田 恭典 渡部 安齋 柴田 健一	69 輸送コストを加味した首都圏製造業の事業所立地選択モデルの構築	○友野 貴裕 藤武 麻衣 佐野 可寸志 西内 裕晶	○友野 貴裕 藤武 麻衣 佐野 可寸志 西内 裕晶	○吉田 樹
17:49 ~ 18:11	35 走光性を活用した路側発光体の動的減速制御による渋滞緩和の効果検証	○亀岡 弘之 小根山 裕之 渡部 義之 櫻井 光昭	○亀岡 弘之 小根山 裕之 渡部 義之 櫻井 光昭	○亀岡 弘之 小根山 裕之 渡部 義之 櫻井 光昭	70 大阪港から後背圏への国際海上コンテナの配送実態の分析	○秋田 直也 杉本 祥 小谷 通泰	○秋田 直也 杉本 祥 小谷 通泰	○吉武 哲信 青野 航典 白石 悦二 出口 近士